

第21回天敵利用研究会一般講演プログラム

	演題	講演者氏名(所属)
1日目	1 天敵を利用した農法と生物多様性の同時評価	上野高敏(九大・農・生防研)
	2 植生管理による天敵利用の展望—天敵の放し飼いと行動制御	矢野栄二(近畿大学農学部)
	3 ホソヒメヒラタアブ成虫の花粉利用:中腸内花粉量と種類	○竹之山杏子・大野和朗・北原結花(宮崎大学)
	4 アブラムシ類の甘露の糖成分がシヨクガタマバエ成虫の寿命と産卵に与える影響	○渡部 宏・矢野栄二(近畿大学大学院 農学研究科 農業生産科学)
	5 導入天敵コレマンアブラバチの野外への拡散と定着の可能性	中野昭雄(徳島農研)
	6 土着天敵タイリクヒメハナカメムシとギフアブラバチの色と光に対する反応	○阿部成人・中野昭雄(徳島農研)
2日目	7 土着天敵ヤマウチアシボソトゲダニ雌成虫のホウレンソウケナガコナダニ捕食能力	○齊藤美樹(道総研上川農試)・高久 元(北海道教育大札幌校)
	8 人工飼料を用いたオオメカメムシの定着性向上効果	○五十嵐清晃・野村昌史(千葉大院・園)・大井田寛(千葉農林総研)
	9 アブラバチ類を用いたバンカー法における二次寄生蜂の発生と防除への影響	長坂幸吉
	10 インセクタリープラントとしてのオクラの有効性	○林 知毅・大野和朗(宮崎大学農学部)・中野昭雄(徳島農研)
	11 なぜタイリクヒメハナカメムシはオクラで個体群を維持できるの	○山本 樹・林 知毅・大野和朗(宮崎大学農学部)・中野昭雄(徳島農)
	12 九州南部における露地ピーマン圃場での土着天敵温存効果	○大園正史・松比良邦彦・井上栄明(鹿児島県農業開発総合セン)
	13 奈良県における土着天敵を利用した夏秋ナス栽培の取り組み	○神川 諭・井村岳男(奈良県農業総合センター)
	14 シロネギにおける土着天敵活用の可能性	○増井伸一・土田祐大・片井祐介(静岡県農林技術研究所)
	15 高知県嶺北地域の夏秋栽培におけるIPMの取り組み	山口説夫(高知県中央東農業振興センター 嶺北農業改良普及所)
	16 施設ニラのネギアザミウマに対する有望天敵の探索	○下元満喜*・古味一洋**・伊藤政雄*・安達鉄矢*・広瀬拓也*(*高知県農業技術センター **高知県環境農業推進課)
	17 ダニサラバフロアブルRのリンゴでのカブリダニ類に対する影響	○森田孝延・林直考(大塚アグリテクノ)・谷川哲朗(協友アグリ)・佐藤力郎(総合防除コンサル)